

フェルメールに魅せられた者として足かけ4年にわたって世界中を旅し、彼の作品をつぶさに観てまいりました。その結果、痛切に感じたことは、フェルメール自身の旅路を、時間の軸に沿って追体験することなしには、フェルメールをほんとうに理解することはできないということでした。

画家を志した20歳のころ、彼は迷っていました。自分のスタイルを見つけることができないでいたのです。やがて彼は、自分がなにをどのように描くべきかを徐々に見出していきます。静けさの中で女性がたたく足音、手紙を書き、あるいは楽器を奏ではじめます。物語のない物語が語られはじめます。いわゆる「フェルメールの部屋」の発見です。やがて彼は光の粒を自在に操ることができるようになり、時間を止めることに成功します。そして数々の傑作を生み出すのです。そのみずみずしい過程を知るために、彼の全作品を制作

ようこそ、光の王国へ

年順に並べて、その場を行きつ戻りつしながら鑑賞することができます。どんなにすばらしいことでしょう。

私は夢をかたちにしたい方法のいくつかを思いついたのです。このほど私たちはフェルメール理解へのひとつの試みとして、現存する全フェルメール作品を最新のデジタルマスタリング技術によって、彼が描いた当時の色調とテクスチャーを推測して、原寸大で、所蔵美術館と同じ額装を施して一堂に展示する場所を作ろうと考えました。それを可能としたのが、リ・クリエイト画像技術であり、それを実現したのがここ、「フェルメール光の王国」です。

フェルメールがたどった軌跡を存分に楽しんでいただくことができるように工夫をこらしました。どうぞ自由に、ご自身のフェルメールを発見してほしいと願っています。

福岡 伸一(分子生物学者/本展総合監修)



元画像

リ・クリエイトされた画像

### リ・クリエイトとは・・・ 「オリジナルから失われたものをふたたび取り戻す = 作品の“再創造”という新しい複製画の手法」

原画(オリジナル作品)は、経年や修復、洗浄による退色や変化が避けられず、状態はさまざまです。現存するオリジナル作品は、必ずしも作家が求め描いた作品の状態とは一致しません。そこで、作家が当時描いたであろう色彩を求めて、科学的な検証、技術的な修正、人的な感性を結集し、作品を「再創造」したものです。



○JR岡山駅東西連絡通路直結 徒歩2分  
※契約駐車場はありません。車でお越しの方は、付近の有料駐車場をご利用ください。

料 金 一般 1,000 円  
(前売り券は、4月13日[月]まで販売 800 円、音声ガイドタブレット付前売り 1,100 円)、  
高校・大学生 700 円、小・中学生 400 円 〈音声ガイド 500 円〉  
※20名以上の団体は各当日料金から100円引き(有料対象者のみ適用) ※小学生未満無料  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参の方、および付添人1名は無料

プレイガイド 山陽新聞社サービスセンター、OHKエンタープライズ、主要プレイガイド、  
チケットぴあ(Pコード:766-622)、ローソンチケット(Lコード:66806)

お問い合わせ OHK岡山放送事業部 086-941-0091



岡山から世界で戦える人材を育成する  
学びを岡山の文化へ **学び革命**



ベクトル代表  
村川 智博

ベクトル大学は私、ベクトル代表 村川智博が、自らが世界で戦える人材になる為に、学ぶことが最も重要だと気づき、自分だけではなく郷土岡山のより多くの皆さんにもそのことに気づいてもらい一緒に学び、成長したいという願いから誕生しました。

今後はこの思いに賛同いただける企業や団体・個人と手を取り合いながらより多くの皆さんと共に成長していけるような団体にしていきたくと思っています。

村川 智博公式サイト <http://vector-enter.jp/murakawatomohiro/>  
村川 智博公式フェイスブックページ <https://www.facebook.com/murakawatomohirovector?fref=ts>  
村川塾 公式フェイスブックグループ <https://www.facebook.com/groups/440507379423569/?fref=ts>

お問い合わせ **ベクトル大学運営事務局**

086-238-8649 <https://www.facebook.com/vectoruniv?fref=ts>

## ベクトル大学 月額会員募集

### 第41回公開フォーラム

日時 2月20日(金)18:00~  
講師 株式会社情熱 代表取締役 水野 元気  
場所 OKAYAMA MOVE UP café  
料金 会員無料、学生無料、一般5,000円

### 第42回公開フォーラム

日時 3月14日(土)18:00~  
講師 株式会社サイバーエージェントベンチャーズ 代表取締役 田島 聡一  
場所 OKAYAMA MOVE UP café  
料金 会員無料、学生無料、一般5,000円

### 第43回公開フォーラム

日時 4月 1日(水)17:00~  
講師 株式会社クロスカンパニー 代表取締役社長 石川 康晴  
場所 岡山市民会館  
料金 会員無料、学生無料、新社会人無料、一般5,000円

# フェルメール 光の王国展

福岡伸一/監修 in OKAYAMA

フェルメール全37点の  
リ・クリエイト作品\*を一堂に展示。

\*「フェルメール・センター・デルフト」より提供を受けた画像素材を最新技術により、350年前の色彩を求めて美しく再創造。この作業を「リ・クリエイト」と呼ぶ。

岡山シティミュージアム5階展示室

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1 TEL:086-898-3000  
<http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>

2015.4.14[Tue]—5.6[Wed]

開館時間 10:00-18:00(最終入場は17:30まで) 休館日 月曜日(5月4日[月]は開館)

meet the master of light vermeer centrum ginza



音楽 久石 譲 美術監修 伊東順二

supported by VECTOR



※画像はイメージです。

宮沢 りえ  
音声ガイド  
小林 薫  
「フェルメール光の王国展 in OKAYAMA」の音声ガイドは、NTTドコモのタブレットを使用しています。























音声ガイド協賛  
NTT docomo



主催 山陽新聞社/OHK岡山放送/岡山シティミュージアム  
フェルメール・センター銀座 実行委員会  
後援 岡山EU協会/岡山日蘭協会/オランダ王国大使館  
特別協賛 ベクトル/Workin(廣済堂)/孫の力  
協力 docomo  
お問い合わせ OHK岡山放送事業部 086-941-0091



ヨハネス・フェルメール年譜

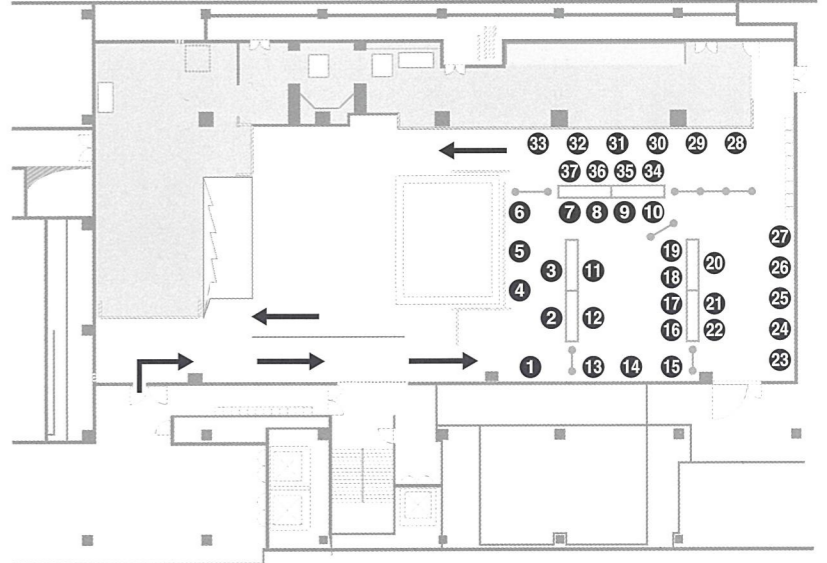
 <p><b>1</b> マリアとマルタの家のキリスト 1654-55年、油彩・キャンバス、160×142cm エディンバラ、スコットランド・ナショナル・ギャラリー</p>	 <p><b>11</b> 二人の紳士と女 1659-60年、油彩・キャンバス、77.5×66.7cm ブラウンシュヴァイク、アントン・ウルリッヒ美術館</p>	 <p><b>21</b> 合奏 1665-66年、油彩・キャンバス、72.5×64.7cm ボストン、イザベラ・スチュアート・ガードナー美術館 *1999年に盗難に遭い現在行方不明</p>	 <p><b>31</b> レースを編む女 1669-70年、油彩・キャンバス、23.9×20.5cm パリ、ルーヴル美術館</p>
 <p><b>2</b> 聖女ブラクセデス 1655年、油彩・キャンバス、101.6×82.6cm 個人蔵</p>	 <p><b>12</b> デルフト眺望 1660-61年、油彩・キャンバス、96.5×115.7cm デン・ハーグ、マウリッツハイス美術館</p>	 <p><b>22</b> 手紙を書く女 1665-66年、油彩・キャンバス、45×39.9cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー</p>	 <p><b>32</b> 手紙を書く女と召使い 1670年、油彩・キャンバス、72.2×59.7cm ダブリン、アイルランド・ナショナル・ギャラリー</p>
 <p><b>3</b> ディアナとニンフたち 1655-56年、油彩・キャンバス、97.8×104.6cm デン・ハーグ、マウリッツハイス美術館</p>	 <p><b>13</b> 稽古の中断 1660-61年、油彩・キャンバス、39.3×44.4cm ニューヨーク、フリック・コレクション</p>	 <p><b>23</b> 絵画芸術 1666-67年、油彩・キャンバス、120×100cm ウィーン美術史美術館</p>	 <p><b>33</b> 信仰の寓意 1671-74年、油彩・キャンバス 114.3×88.9cm ニューヨーク、メトロポリタン美術館</p>
 <p><b>4</b> 取り持ち女 1656年、油彩・キャンバス、143×130cm ドレスデン国立絵画館</p>	 <p><b>14</b> 音楽の稽古 1662-65年、油彩・キャンバス、74×64.5cm ロンドン、バッキンガム王室コレクション</p>	 <p><b>24</b> 赤い帽子の女 1666-67年、油彩・パネル、22.8×18cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー</p>	 <p><b>34</b> ギターを弾く女 1672年、油彩・キャンバス、53×46.3cm ロンドン、ケンウッドハウス</p>
 <p><b>5</b> 眠る女 1657年、油彩・キャンバス、87.6×76.5cm ニューヨーク、メトロポリタン美術館</p>	 <p><b>15</b> 青衣の女 1662-64年、油彩・キャンバス、46.6×39.1cm アムステルダム国立美術館</p>	 <p><b>25</b> フルーツを持つ女 1666-67年、油彩・パネル、20×17.8cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー</p>	 <p><b>35</b> ヴァージナルの前に立つ女 1673-75年、油彩・キャンバス、51.8×45cm ロンドン・ナショナル・ギャラリー</p>
 <p><b>6</b> 窓辺で手紙を読む女 1657年、油彩・キャンバス、83×64.5cm ドレスデン国立絵画館</p>	 <p><b>16</b> 天秤を持つ女 1662-64年、油彩・キャンバス、40.3×35.6cm ワシントン・ナショナル・ギャラリー</p>	 <p><b>26</b> 少女 1666-67年、油彩・キャンバス、44.5×40cm ニューヨーク、メトロポリタン美術館</p>	 <p><b>36</b> ヴァージナルの前に座る女 1673-75年、油彩・キャンバス、51.5×45.6cm ロンドン・ナショナル・ギャラリー</p>
 <p><b>7</b> 小路 1657-58年、油彩・キャンバス、53.5×43.5cm アムステルダム国立美術館</p>	 <p><b>17</b> 真珠の首飾りの少女 1664年、油彩・キャンバス、51.2×45.1cm ベルリン国立美術館</p>	 <p><b>27</b> 女と召使い 1667-68年、油彩・キャンバス、90.2×78.7cm ニューヨーク、フリック・コレクション</p>	 <p><b>37</b> ヴァージナルの前に座る若い女 1670年、油彩・キャンバス、25.2×20cm 個人蔵</p>
 <p><b>8</b> 兵士と笑う女 1658年、油彩・キャンバス、50.5×46cm ニューヨーク、フリック・コレクション</p>	 <p><b>18</b> 窓辺でリュートを弾く女 1664年、油彩・キャンバス、51.4×45.7cm ニューヨーク、メトロポリタン美術館</p>	 <p><b>28</b> 天文学者 1668年、油彩・キャンバス、50×45cm パリ、ルーヴル美術館</p>	
 <p><b>9</b> 牛乳を注ぐ女 1658-60年、油彩・キャンバス、45.4×40.6cm アムステルダム国立美術館</p>	 <p><b>19</b> 窓辺で水差しを持つ女 1664-65年、油彩・キャンバス、45.7×40.6cm ニューヨーク、メトロポリタン美術館</p>	 <p><b>29</b> 地理学者 1669年、油彩・キャンバス、52×45.5cm フランクフルト、シュテデル美術館</p>	
 <p><b>10</b> 紳士とワインを飲む女 1658-60年、油彩・キャンバス、65×77cm ベルリン国立美術館</p>	 <p><b>20</b> 真珠の耳飾りの少女 1665年、油彩・キャンバス、44.5×39cm デン・ハーグ、マウリッツハイス美術館</p>	 <p><b>30</b> 恋文 1669-70年、油彩・キャンバス、44×38cm アムステルダム国立美術館</p>	

©フェルメール・センター銀座

- 【注意事項】**
- 展示品にはお手を触れないようご注意ください。
  - 会場内の写真撮影は可能ですが、フラッシュの使用はご遠慮ください。
  - 会場内での携帯電話による通話はご遠慮ください。
  - 会場内での喫煙、給付品等を含む飲食はご遠慮ください。
  - メモ等には鉛筆以外の筆記用具はご利用いただけません。(作品の模写は禁止です。)
  - 場内混雑の際にはお待ちいただくことがあります。
  - 会場内では係員の指示に従ってください。

会場  
順路図

※順路は変更となる場合がございます。  
予めご了承ください。



- 1632年 10月、オランダ・デルフトに生まれる。  
父レイニヤール・ヤンスゾーン・フォスは宿屋を営むかわら、画商でもあり、画家・工芸家のギルド「聖ルカ組合」のメンバーだった。  
この年の同じく10月、後に顕微鏡を発明するアントニ・ファン・レーウエンフック (1632-1723) が、デルフトに生まれる。
- 1641年 9歳  
父レイニヤールがデルフトのマルクト広場に面した「メーヘレン」という名の宿屋兼住居を購入し、家族もそこに住まう。
- 1652年 20歳  
父レイニヤール死去。宿屋の経営と画商の仕事を引き継ぐ。
- 1653年 21歳  
4月、カタリーナ・ボルネス (1631年生まれ) と結婚。  
12月、聖ルカ組合に登録、本格的な画家としての活動が始まる。
- 1656年 24歳  
《取り持ち女》に署名と年号を記入。
- 1662年 30歳  
聖ルカ組合の理事に史上最年少で選出される (任期2年)。
- 1663年 31歳  
フランス人美術愛好家バルタザール・ド・モンコニーがフェルメールのもとを訪問。
- 1667年 35歳  
ディルク・ファン・ブレイスウィック著『デルフト市誌』で、カレル・ファブリティウス (1622-54) の跡を継ぐ画家として絶賛される。
- 1668年 36歳  
《天文学者》に年号を記入。
- 1669年 37歳  
名鑑定家ピーター・テーディング・ファン・ベルクハウトが2度にわたりフェルメールの工房を訪問。
- 1670年 38歳  
母ディフナ・バルテンス死去。  
「メーヘレン」を相続する。
- 1671年 39歳  
ふたたび、聖ルカ組合の理事に選出される (任期2年)。
- 1672年 40歳  
イタリア絵画の鑑定依頼を受け、デン・ハーグに招集される。
- 1675年 43歳  
12月16日、死去。デルフトの旧教会に埋葬される。妻カタリーナと11人の子供が残される。  
妻カタリーナは負債の処理などのため、フェルメールの作品を処分した後、自己破産を申請する。  
アントニ・ファン・レーウエンフックが、フェルメールの財産管理人に指名される。
- 1677年  
聖ルカ組合で、フェルメールの遺産にあたる作品が売り立てに出される。
- 1687年  
妻カタリーナ、死去 (56歳)。
- 1696年  
アムステルダムで21点の作品 (通称、ディシウス・コレクション) が競売にかけられる。